

平成24年度 プロジェクト研究所業績報告書（中間報告）

プロジェクト名	次世代型情報基盤教育への新展開
研究所名	社会情報教育イノベーション研究所（所長 竹内光悦 准教授）
設置開始	2011. 7. 20
設置終了	2014. 3. 31

■研究の進捗状況（研究員の活動実績含む）

当該年度は前年度に引き続き、各研究員のテーマにそって、各自環境づくりや適宜各自の課題に取り組んだ。具体的には以下の通りである。

□「情報取得資格支援に対する取り組み」

公的な情報資格取得支援として Microsoft Office のスキルを測る MOS 資格取得に向けたサポートや大学を試験会場とするための環境設備や実施に向けた準備を行った。

□「情報端末を用いたデータ分析環境の構築」

携帯端末を用いたデータ分析の授業準備やソフトウェアの開発を行った。

□「共同・協調学習モデルの構築」

企業と共同して企業 PR 動画作成プロジェクトを立ち上げ、授業展開を試みた。

□「ネットワークを用いた国際コミュニケーション」

国内外の学生間のコミュニケーションを測った。

□「事務も含めた情報環境の指導」

事務も含め情報リテラシーの向上をめざし、学内での SNS-LMS 利用講習会等を実施した。

■現在までの達成度

やや前年度の遅れがひびき、また関連の調査等も指導要領の実施時期にも影響し、全体としてやや遅れ気味である。一方で、それぞれの担当のテーマを踏まえると、情報リテラシーの外部評価支援を考える資格等の検討については設置の認可は取得しており、あとは実施への最終準備のみとなっている。事務関連としても講習会の実施や情報機器を用いたキャリア教育についてもすでに実践授業事例に着手しており、おおむね来年に向けて、達成度は 75% はあると考えている。次年度にむけて授業計画等もできており、プロジェクト全体での計画の目標達成は可能と考えている。

■次年度以降の研究（見込み）

プロジェクトの最終年度として各テーマの総合化、標準化を目指す。

具体的には以下の通りである。

1. 情報資格取得支援として MOS 試験会場実施と効果測定
2. クラウドを活用したメディア授業の展開
3. 中高大の連携を踏まえた情報教育の展開
4. 学園教職員に向けた情報環境の整備、説明会の開催

これらの実施を踏まえ、5 年先、10 年先の情報環境整備の調査を行い、本プロジェクトのまとめを

行う

■研究活動における成果

(1) 研究成果（雑誌、学会発表、図書等）

[1] 竹内光悦（2013）問題解決を踏まえたグループワーク実習，2013 年度数学教育学会春季年会発表論文集，133-135.

[2] 竹内光悦（2012）データと分布の関係を考える授業展開，2012 年度数学教育学会秋季例会発表論文集，87-89.

[3] 竹内光悦（2012）新指導要領と大学教育への展開，日本行動計量学会第 40 回大会発表論文抄録集，293-294.

[4] 竹内光悦・上村尚史・末永勝征（2012）携帯端末とラーニングシステムを利用した統計教育の展開，2012 年度統計関連学会連合大会講演報告集，219.

[5] 竹内光悦・上村尚史・末永勝征（2012）ICT を活用した統計的思考力育成のための教材開発，2012 PC Coference CIEC 研究大会（CD-ROM）.

[6] 竹内光悦（2012）誤読グラフを踏まえた統計グラフ教育の展開，日本計算機統計学会第 26 回大会論文集，131-132.

[7] 中俣尚己・岩崎瑠莉恵・荻原知世・中野仁美・山上聡美「Skype を活用した初級日本語教育プログラム」『実践国文学』82 pp.123-110 2012 年 10 月

[8] 中俣尚己・漆田彩・小野真依子・北見友香・竹原英里（2013）「Skype を活用した日中会話交流プログラム」『実践国文学』83 2013 年 3 月予定

[9] 学内 SNS-LMS 利用講習会（E ラーニング講習会）

[10] manaba course 懇談会

(2) 学生・生徒の教育及び支援に関する還元

[1] manaba を利用した教材配布管理システムの構築

manaba において，授業スライドの配布，資料の配布，中間テストやレポートの評価の返却，アンケートの実施等を行い，ノマドスタディの導入を行った。

[2] manaba 懇談会を開催し，充実したシステム開発支援

manaba の開発者との懇談会を行い，manaba の拡張に関して議論した。

[3] iPad を利用した学外演習および事務環境の検討

iPad を利用し，学外での演習の実施や事務環境の展開を検討した。

[4] MOS 検定用学習ソフトを組み込んだ PC での学習実態調査

MOS 検定を受検希望の学生を対象に学習ソフトの有用性を検証した。

[5] manaba の利用度別の学習成果への影響測定

manaba の利用の程度でどの程度学習成果に影響がでるかを利用データを踏まえ，検証を行った。